

## 本田会長を再任 23人の新執行部を選出



朝長万左男先生

冒頭、本田会長が「診療報酬改定やオンライン資格確認及び現行保険証の廃止など、重要な問題が山積している。精力的に活動したい」と、あいさつしました。

議事では、2023年度活動報告及び決算報告

診療報酬改定は会員の期待も高くHPのアクセスUP

7月20日、第47回定期総会を長崎市のホテルニュー長崎で行いました。4年ぶりに完全対面とし、120人が参加しました。はじめに、去る4月に設立時から協会活動を牽引し、発展に尽力された哲翁昭邦名誉会長が逝去されたことを本田会長が報告し、2023年度に逝去された会員とともに黙祷を捧げました。議長に原田知行先生(長崎市・医科)を選出しました。

## 市民の声が核廃絶の確かな道へ

### 被爆者医療の第一人者 朝長万左男先生講演



市民も参加した総会記念講演

活動報告では、診療報酬改定ではYouTubeを活用しながら、生活習慣病管理料やベースアップ評価料など、会員の関心が高い課題に精力的に取り組む、ホームページへのアクセスや視聴も多かったことを報告し、活

動方針では、生活習慣病管理料の外来データ提出加算の届出をサポートする手引きやソフトを斡旋するなどの診療報酬改定への対応のほか、現行保険証の存続を求める活動、社会保障費の抑制に反対する運動、開業医の承継・新規開業の支援などの重点課題について提案しました。そのほか、執行部から、物価人件費の高騰も相俟って、協会の収支バランスが悪化している



挨拶する本田孝也会長

現状が報告され、会費は全国で2番目に低い水準であり、1年間かけて会費値上げを検討することを提案し、併せて、健全な組織運営のために法人化を目指すことも決定しました。最後に、櫻川常任理事が副会長に、千々岩顧問を名誉会長とする役員体制を提案しました。

記念講演は、長崎大学名誉教授の朝長万左男先生が「核兵器を創っても捨てきれないアメリカ映画オッペンハイマーを観るアメリカの本質」をテーマに講演しました。先生は「被爆実体験だけでは核兵器廃絶の声は拡がらない。放射線の影響

豪華景品が当たる福引きで大きな歓声 最後に懇親パーティー

ロビーには第22回写真コンテストの入選作品が展示され、力作が参加者を引きつけました。



発行所  
長崎県保険医協会  
長崎市恵美須町2-3-2 F  
電話 095(825)3829  
FAX 095(825)3893  
Eメール nagasaki-hok@doc-net.or.jp  
発行人 本田孝也  
定価 1部 250円  
年間 3,000円

### 主な記事

- 長崎「被爆体験者」・広島「黒い雨」体験者「全被害者の救済」求め活動を…… 2面
- 第47回定期総会・来賓、メッセージ…… 3面
- 会員投稿「心に残る本」スマホで1枚…… 4〜5面
- 2024年保団連代議員会…… 6面
- シリーズ「2024年改定の要点と解説」⑤…… 7面
- サイバーセキュリティ・医師賠償保険の取扱いをスタート…… 8面
- グループ保険のおすすめ…… 9面
- 第22回写真コンテスト審査結果…… 10面

## 銷夏特集号

今号は未入会の先生にもお送りしています